

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	キャリアデザイン2	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回PPT・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	山田素子、笹本篤、金原聖			実務経験の有無・職種	なし
学習目的					
この科目を受講する学生は、科目の内容をよく理解し、社会人としてのマナー講義、就職活動の仕方、プレゼンテーション、グループワーク等でスキルを磨くことで、就職に対する「社会人基礎力」を向上させることがねらいである。さらに、スキルチェックブックを使用し、自らの性格や能力を自己判断をして、これからの目標を立てることで学生の「人間力」の向上を図ることがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、日々活動している社会の中で自分自身に何が不足しているのかを理解をさせ、今後の目標を立てることで自己の意識を高める。業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージして、自らが行動に移していく事で「社会人基礎力」「人間力」の向上を図り、自ら掲げた目標を達成することを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業での行動を通じて、学生の「社会人基礎力」「人間力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「キャリアデザイン」を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験できない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験	60%	試験で総合的に評価する		
	課題	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	スキルチェックブックについて（5）		前期にたてた目標をどのように達成に向かうのか、計画をたてる		
2回	就職活動について（1）		就職活動についてのマナー、履歴書の書き方、面接の仕方などスキルを養う		
3回	就職活動について（2）		就職活動についてのマナー、履歴書の書き方、面接の仕方などスキルを養う		
4回	就職ガイダンス（1）		就職活動の始め方、進め方、報告の仕方などのスキルを養う		
5回	就職ガイダンス（2）		就職活動の始め方、進め方、報告の仕方などのスキルを養う		
6回	グループワーク（3）		就職活動でのグループワークを想定して、様々なグループワークを経験して経験値を増やす		
7回	グループワーク（4）		就職活動でのグループワークを想定して、様々なグループワークを経験して経験値を増やす		
8回	プレゼンテーション（2）		就職活動でのプレゼンテーションを想定して、様々なプレゼンテーションを経験して経験値を増やす		
9回	プレゼンテーション（3）		就職活動でのプレゼンテーションを想定して、様々なプレゼンテーションを経験して経験値を増やす		
10回	会社説明会（1）		学科が選定した数社の企業に来て頂き、会社説明を受けて企業内容の理解を深める		
11回	会社説明会（2）		学科が選定した数社の企業に来て頂き、会社説明を受けて企業内容の理解を深める		
12回	会社説明会（3）		学科が選定した数社の企業に来て頂き、会社説明を受けて企業内容の理解を深める		
13回	会社説明会（4）		学科が選定した数社の企業に来て頂き、会社説明を受けて企業内容の理解を深める		
14回	スキルチェックブックについて（6）		目標を達成できたのか確認をして、2年次に向けた新たな目標を立てる		
15回	1年間の総括 2年次について		一年間の総括、2年次について確認		